

図書館だより

高校生によるミニビブリオバトル

- 内容** 参加者同士だけで、お互いのおススメの本を紹介しあう会です。
- 対象** 市内在住・在学の高校生(定員10人先着順)
※定員に達し次第締め切ります
- 日時** 2月25日(土)午前11時~12時
- 場所** 沖縄市立図書館
- 申込方法** 沖縄市立図書館へ電話(098-929-4919)
またはメール
(tosyo-kan@city.okinawa.lg.jp)
- 受付締切** 令和5年2月10日(金)まで。



お問い合わせ 沖縄市立図書館
TEL.098-929-4919



休館のおしらせ

蔵書点検および図書館システム入れ替えに伴い休館します。

※移動図書館ちえぞう君も運休

ホームページでの検索や予約などができなくなりますのでご注意ください。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

休館期間 1月24日(火)~3月9日(木)

※ホームページ利用 1月31日(火)まで

※返却日は3月の開館後

休館期間中もご利用いただけるサービス

電子図書館、エントランス文庫、まなびの部屋
詳しくはお問い合わせください。

今月の「黄金人」/城間 盛榮 さん(88歳)

父の影響で17歳から大工の仕事を始め、バイク修理やパーラーの仕事など多岐にわたり仕事されてきた盛榮さんは、庭の手入れや2~3時間のウォーキングが日課で、ボウリングのリーグ戦に60歳から25年間参加されるなど以前から体を動かすことが好きだったそうです。

現在は介護認定をうけデイサービスへ通う傍ら、知花にある高齢者サロン「ふれあいサロンまじゅん」へ週に1回参加されています。家族より「父はサロンの参加者に声をかけてもらえることが嬉しく、以前に比べ前向きになったよ」と教えてくだ

介護保険課 地域支援担当

TEL.098-939-1212 (内線3142)

さいました。今後の目標は「またウォーキングがしたい」と語る盛榮さんは1日頑張ったご褒美にと寝る前にビールを1本飲むのが楽しみだそうです。

また、週に1、2回プールへ通いクロール泳ぎをするなど、積極的に活動や運動を続け地域との繋がりを大事にされており、その姿勢がいつまでも地域で元気に暮らすコツなのだと教わりました。



※「くがに」とは、大切なものが輝いているさま。「くがにんちゅ」=輝いている人

こちら沖縄市立郷土博物館

石獅子は村の入り口などに置かれ、魔除け「ヤナムンゲーシー」として、または「ムラゲーシー」「ヒーゲーシー」として災いから私たちを守ってくれています。その顔はどれも素朴ながら表情豊かで私たちを和ませてくれます。

現在沖縄市には5つの石獅子が確認されていますが、うち3つは古謝にありそれぞれの方向から集落を守っています。なかでもアガリヌシーサーの形状は個性的で、立ち上がり両手を広げ威嚇しているようにも見えます。

他にアコウの根元に設置されている山里のシーサーや、胡屋の「グングウチモー」と呼ばれていた広場にあったシーサー(現在は胡屋公民館の横)も今でも私たちを見守ってくれています。

なんとも愛おしくなる石獅子たち、近くを通るときにはぜひ探してみてください。(文化財調査専門員 曾木)



アガリヌシーサー



山里のシーサー

沖縄市立郷土博物館 **TEL.098-932-6882**

博物館
コラム